

富田林市水道事業経営戦略（素案）の概要

1. 経営戦略策定の目的

「経営戦略」は、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である。その中心となる「投資・財政計画」は、施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画（投資試算）と、財源の見通しを試算した計画（財源試算）を構成要素とし、投資以外の経費も含めた上で収入と支出が均衡するよう調整した中長期の収支計画である（経営戦略ガイドライン改訂版）。

本市においても、一層の経営基盤を強化するための取組みを推進する基本計画として、「富田林市水道事業経営戦略」を策定する。なお、計画期間は、令和1(2019)年度～令和10(2028)年度の10年間である。

2. 将来の事業環境

① 給水人口の予測

本市では、「富田林市人口ビジョン」が策定されており、令和10(2028)年度には、計画給水人口は100,240人となる見通しである。(図1)

② 需要の予測

令和10(2028)年度の計画給水量は40,950m³/日と、現状の約90%となる見通しである。(図1)

③ 料金収入の見通し

料金を据え置いた場合、令和10(2028)年度の料金収入は、水需要予測結果に基づく年間有収水量に比例して減少し、約15億4千万円となる見通しである。

④ 施設の見通し

現有資産(構造物及び設備)のうち、老朽化資産は約26%、経年化資産は約6%であるが、全く更新事業を実施しない場合、40年後にはそれぞれ46%、40%となる。(図2)

現有管路のうち、老朽化管路は約2%、経年化管路は約30%であるが、全く更新事業を実施しない場合、40年後にはそれぞれ約75%、約25%となり、健全管路は0%となる。(図3)

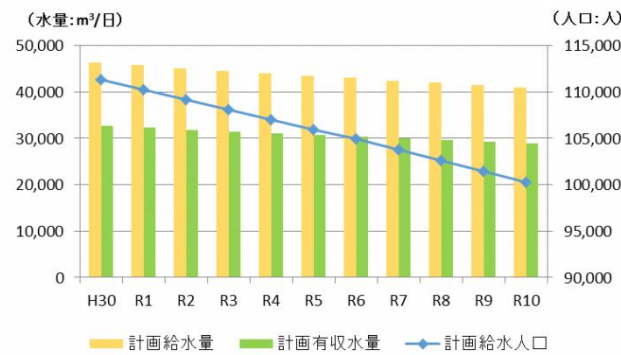


図1 富田林市の水需要予測

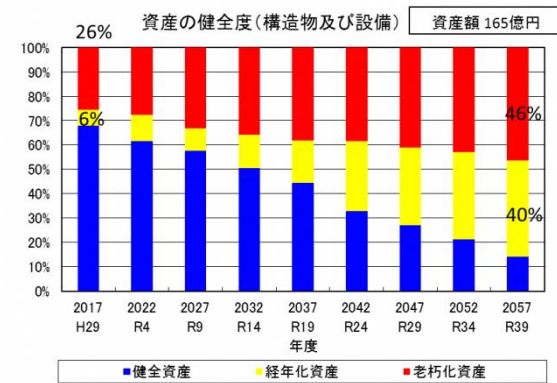


図2 構造物及び設備の健全度推移

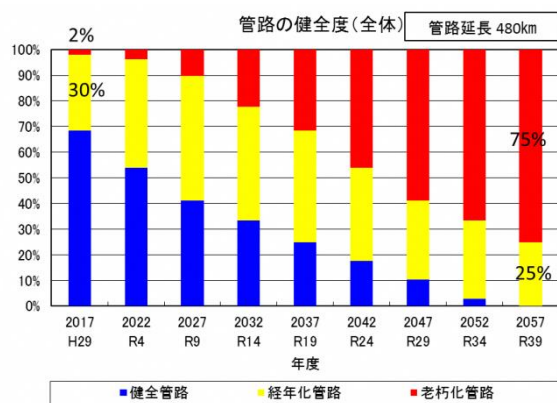


図3 管路の健全度推移

3. 経営戦略

経営戦略では、「投資試算」と「財政試算」の収支均衡を図る必要がある。収支均衡の定義は、計画期間内で黒字となること。ここでいう黒字は、事業を安定的に継続するために必要な施設・設備に対する投資を適切に見込んだ上での黒字となる。また、安定的に事業を維持出来ることが望ましいとされている。

① 投資試算

老朽管の更新・耐震化事業を中心事業として、日野浄水場の機械電気設備更新、送配水施設の機械電気設備更新及び配水池防水工事への投資を進める。

区分		概要	H30～R10 総額
浄水場整備	日野浄水場	機械電気設備更新	約25.1億円
送配水施設整備	送水施設	流入弁、送水ポンプ更新、電気設備更新	約7.3億円
	配水施設	防水塗装、機械電気設備更新	約22.5億円
管路		老朽管更新・耐震化	約96.6億円
その他		甲田浄水場中央監視、事務費等	約20.8億円
合計			約172.3億円

表1 投資計画

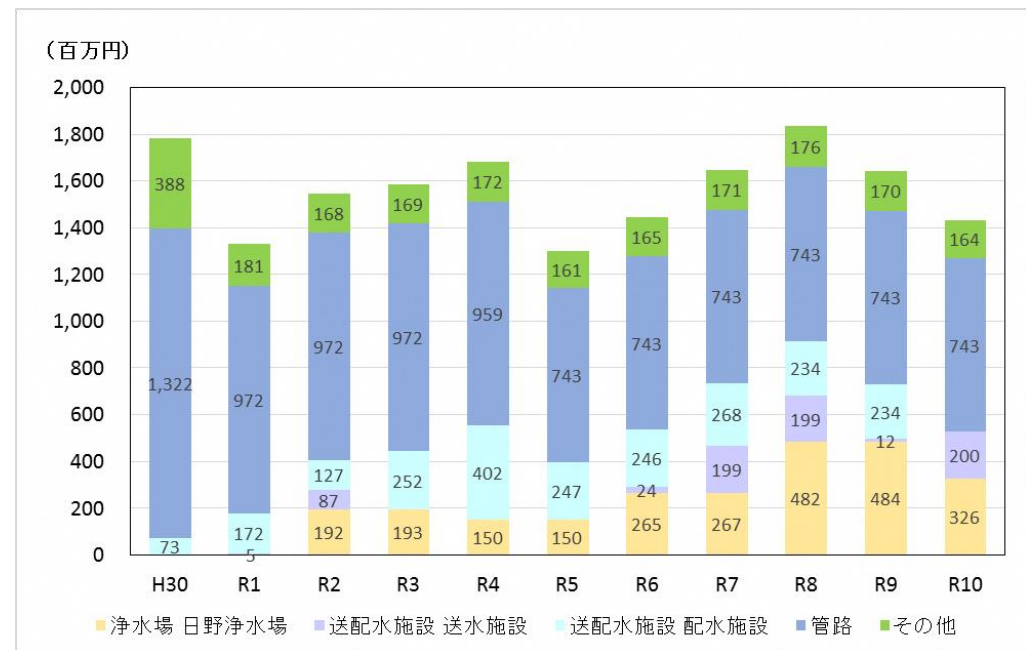


図4 年度別事業費の推移

富田林市水道事業経営戦略（素案）の概要

② 財源試算

(1) 現状料金水準でのシミュレーション

現状料金水準で、シミュレーションした場合の見通しを以下に示す。なお、起債充当率は投資額の 15% とする。

- ・令和 5(2023)年度以降、支出が収入を上回り赤字となる見通しとなった。
- ・企業債残高は、令和 10(2028)年度において8億円程度増加する見通しとなった。
- ・資金残高は、令和 5(2023)年度には不足し、建設投資の財源確保ができなくなる見通しとなった。

➡ 「投資試算」と「財政試算」にギャップが発生

(2) 経営戦略に基づく財政シミュレーション

「投資試算」と「財源試算」の収支ギャップを埋めるため、料金水準の適正化及び投資の合理化等を検討し、財政シミュレーションを行った。なお、推計期間は、令和 1(2019)年度～令和 10(2028)年度（10ヶ年）とする。

表 2 財政シミュレーション結果

項目	説明	
給水収益	25%増とする必要がある	
起債充当率	建設改良費の 15%から 25%へ増加させる	
基本 条件 充足	経営状況（経常収支比率）【目標：100%以上（推計期間全てにおいて黒字経営維持）】	104.7%
	資金残高【目標：令和 10(2028)年度における給水収益 1ヶ年程度確保】	16.1 億円
	企業債残高対給水収益比率【目標：全国平均(290%程度)】	291.0%
	料金回収率【目標：100%以上】	100.9%

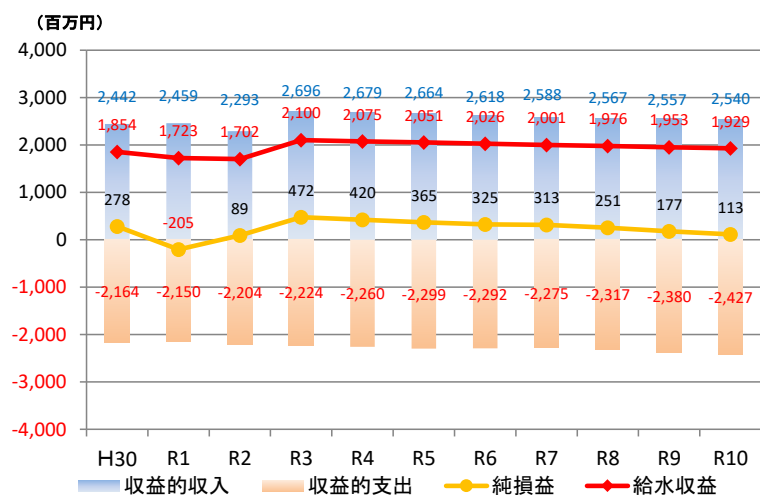


図 5 収益的収支の推移

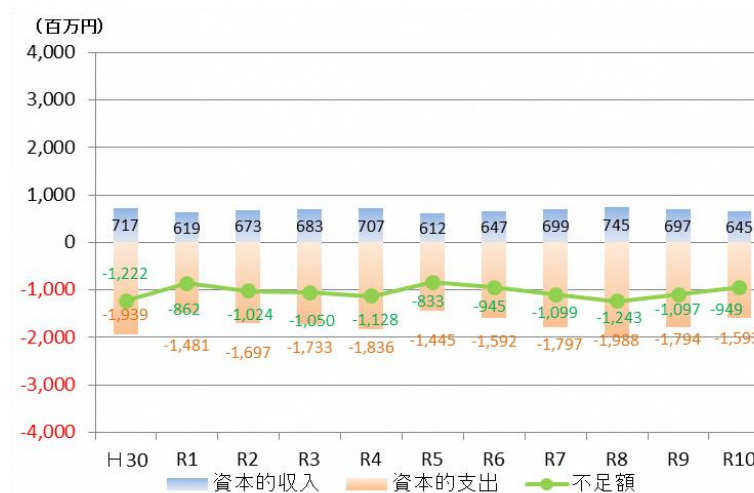


図 6 資本的収支の推移

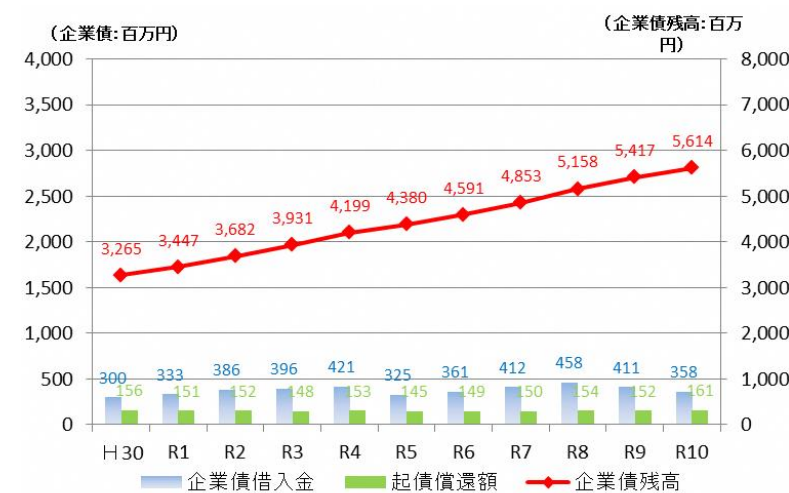


図 7 企業債残高等の推移

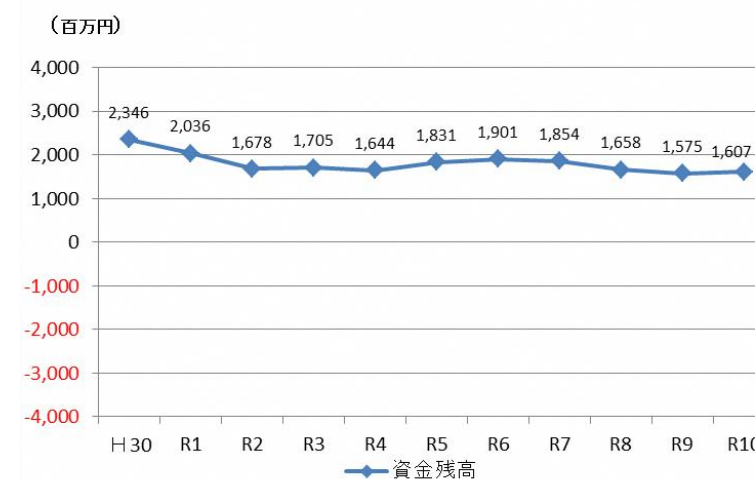


図 8 資金残高の推移